

# 令和 4 年度 広神東小学校 学校経営方針

校長

昨年度、新型コロナウイルス禍は続いたが、子どもの安心・安全を守りながら、様々な特色ある教育活動を充実させることができた。一人一台端末という学習ツールを加えた新たな学び方も始まり、子どもたちは知・徳・体とも目指す姿に向かつてのびのびと育ってきた。

今年度は新学習指導要領全面実施 3 年目。そして、2 年目の一人一台端末活用（授業や家庭への持ち帰り活用）を充実させる。そして、新しい生活様式を継続して子どもの安心・安全を守りながら、当校の教育活動を、さらに創意工夫して確実にやっていく。

## ◆広神東小学校 教育目標

- すすんで学び くふうする子ども
- 力を合わせて やりぬく子ども
- 明るく 元気な子ども

## ◆R 4 年度重点目標

**「聴き合い・伝え合い 伸びる子」(3年次)**

私は校長として、学校経営で以下のスローガンを掲げ、広神東小の教育目標・重点目標の具現化を図る。

### ◆学校経営スローガン：「あい」「たい」がある学校を みんなで創る

「あい」…「高め合い」「認め合い」「支え合い」 のびていく子どもたちと  
 「たい」…「学びたい」「通わせたい」「勤めたい」 保護者・地域・職員

- 1 高め合い学びたい学校 ～「かかわり」を通して、子どもの自己肯定感を高める～
- 2 認め合い通わせたい学校 ～子ども・保護者・地域の思いを認め、大切にしていこう～
- 3 支え合い勤めたい学校 ～職員自身のスキルアップと「チーム広神東」への結集を図り、支え合って魅力ある職場への働き方改革を行う～

**子どもが高め合い学びたい学校**を目指すためには、土台となる温かい学級・仲間作りが大切である。支持的風土を基盤とした互いが認め合い高め合う学級づくりを推進する。授業は、教育活動の中核である。私たち教職員は「主体的・対話的で深い学び」の視点にたった授業改善を進めることで力量を高める。そして授業の中で ICT を活用したり、仲間と協働しながら課題解決を進めたりすることで、子どもの「自己肯定感」を高め、これからを生き抜く子どもたちに必要な力を身に付けさせる。

**保護者・地域が認め合い通わせたい学校**を目指すためには、保護者・地域とともに歩む学校づくりが欠かせない。保護者・地域の願いを学校評価でみとり、学校の様子を日々地域に伝えながら、保護者・地域の力を活用した教育活動を多く取り入れていく。

**職員が支え合い勤めたい学校**を目指すためには、お互いが学校の顔である自覚をもち、学び続ける集団でありたい。教職者として率先垂範し、各自の良さをいかし組織的に教育活動を創っていく。ワークライフバランスを互いに尊重し合って、明るい雰囲気職場を作る。

## ◆教育目標・重点目標具現の具体策

### 1 「高め合い学びたい学校」に向けて（子ども）

#### （1）魅力ある学校・学級づくり（授業や行事、休み時間を通した一人一人の居場所・絆作り）

- ・明るいあいさつを自分からできることを認め合い、推奨していく
- ・行事や学習活動において、達成感・成就感をもたせ、自身の成長自覚につなげる（認められている・役に立っている）
- ・いじめ・不登校・問題行動への的確・組織的な対応を図る。いじめ見逃しゼロ・未然防止を行う。

#### （2）基礎学力の定着と「思考力」「判断力」「表現力」の育成（分かる・できる楽しさのある授業）

- ・ICTを積極的に活用し、日々の授業改善を進め、「主体的・対話的で深い学び」を目指す
- ・年間を通し繰り返しや家庭学習（ICT活用を含む）を大事にし、基礎テスト等の取組継続を行う。
- ・NRT学力テスト、全国学テ、Webテスト等データを基に成果と課題を共有し、指導に生かす。

#### （3）安心・安全な学習環境（新しい生活様式の継続と学び合う仲間作り）

- ・居心地のいい学校・学級集団のために、特別活動の充実（異年齢わかあゆグループ活動等）、Q-U調査の活用を行う
- ・特別支援教育の視点を重視し、「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」の立案、実践を行う。職員間で連携し一人一人の特性に応じた対応や交流学习、UDLや個別支援の工夫を行う。
- ・健康な心と体作りのために、感染症対策、継続的・系統的な保健指導（メディアとの上手な付き合い方を含む）を行う。

### 2 「認め合い通わせたい学校」に向けて（保護者・地域）

#### （1）笑顔あふれる教育実践の情報発信（子どもたちの活動・活躍の姿の広報）

- ・HP「日々日記」の更新、廊下掲示写真「あゆっ子の1年」の作成、学校・学年・学級便りの充実

#### （2）保護者・地域の願いや良さを生かした活動の設定（保護者・地域と子どもたちの関わりの充実）

- ・「あゆっ子野菜プロジェクト」やキャリア教育や地域を知る・伝える総合的な学習の開発、充実、発展を図る

#### （3）保小中の連携・交流の充実（つながりと見通しをもった連携事業の見直し・精選）

- ・子どもの実態を、保小中共通理解し、共に目指す姿や取組を明確化する

### 3 「支え合い勤めたい学校」に向けて（職員）

#### （1）自分の得意分野を磨き、「のりしろ」を出し合って支え合う職員集団

- ・たくさんの校務を効率化するため、自分の能力・労力・時間を傾斜配分する（○だけはやる！）
- ・全員が子どもの担任という共通認識で、子どものために仕事のヘルプを出し合える集団に

#### （2）市教員の勤務時間の上限に関する方針に則って、各自のワークライフバランスを大切に

- ・校務終了予定時刻（上限 19:00 以下）を各自設定し、その中でできる校務を計画的に行う
- ・子どもたち、家族のために無理せず、リフレッシュ年休、早出遅出勤務等取得する

#### （3）ちょうほうれんそうかく（調整、報告、連絡、相談、確認）をし、お互いの仕事が見えやすい職場に

- ・教育活動の重点化を目指し、積極的に精選アイデアを出し合う
- ・公務員としての自覚を忘れず、自律的に非違行為防止に努める